

S-Stage ボアアップキット 125cc 取扱説明書

製品番号	01-05-0125 (カム無)
	01-05-0126 (カム付)

適応車種	スーパーカブ110 (JA44-1000001～)
	クロスカブ110 (JA45-1000001～)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用した場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

FI コントローラーについての注意

当製品を取り付け、ノーマル ECU のままで使用するとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず弊社 FI コントローラー “FI コン2” または “FI コン TYPE-e” を同時装着して下さい。

- ◎当製品はクローズド競技用として開発した製品です。(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品の取り付けには上記適合車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎必ず慣らし運転を行って下さい。
- ◎当製品を取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には向きません。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎シリンダーヘッドは、定期的に必ず規定トルクで増し締めを行って下さい。

～特徴～

- ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ボアアップするキットです。
- ピストン径をφ50mmからφ53.5mmにボアアップし排気量を125ccに、圧縮比を9.0:1から10.8:1にアップさせます。ハイコンプ化させる事で強いトルクが感じられます。付属のカムによりボアアップの出力を有効に引き出します。
- 弊社製エキゾーストマフラーとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

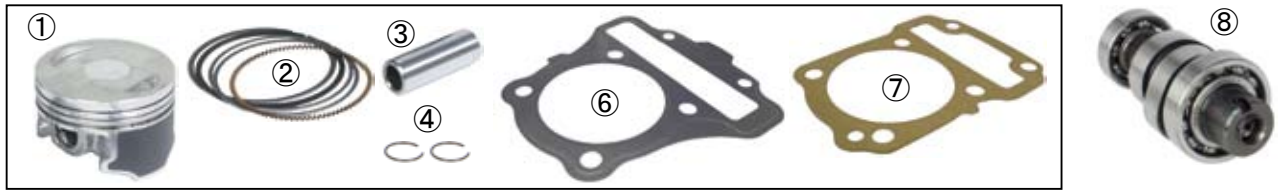
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

01-02-0023



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン 53.5mm	1	00-01-0209 (ピストンピン付)
2	ピストンリングセット	1	01-15-016
3	ピストンピン 13x36	1	00-01-0091 (サークリップ付)
4	ピストンピンサークリップ 13mm	2	00-01-0003 (6ケ入り)
5	シリンダー	1	01-01-0118
6	シリンダーヘッドガスケット	1	01-13-0127
7	シリンダーガスケット	1	
8	スポーツカムシャフト	1	01-08-0180

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

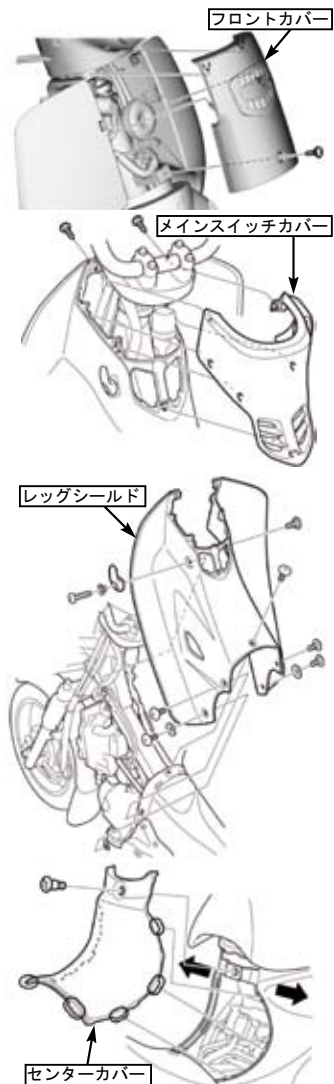
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◇水平な場所でセンタースタンドを立て、車両をしっかりと安定させる。

●外装部品の取り外し

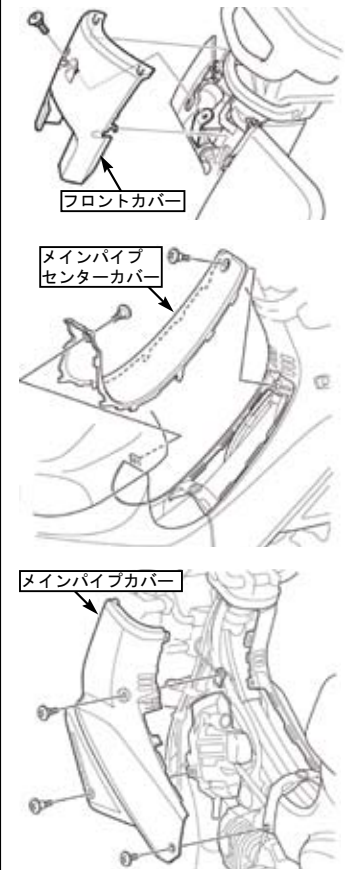
＜スーパーカブ110(JA44)の場合＞

◇純正サービスマニュアルを参考にしてフロントカバー、メインスイッチカバー、レッグシールド、センターカバーを取り外す。



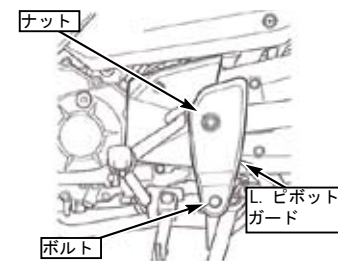
＜クロスカブ110(JA45)の場合＞

◇純正サービスマニュアルを参考にしてフロントカバー、メインパイプセンターカバー、メインパイプカバーの左右を取り外す。

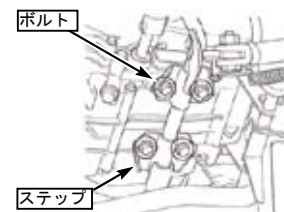


●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

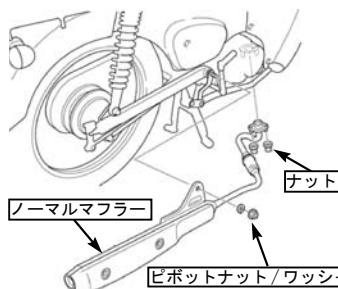
※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。
◇ボルト及びナットを取り外し、L.ピボットガードを取り外す。



◇ボルト4本を取り外し、ステップを取り外す。

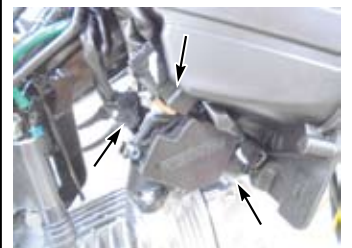


◇ヘッド側のエキゾーストパイプナット2個を取り外す。
◇ピボットナット/ワッシャを取り外し、ピボットボルトを押し込み、ノーマルマフラーを取り外す。

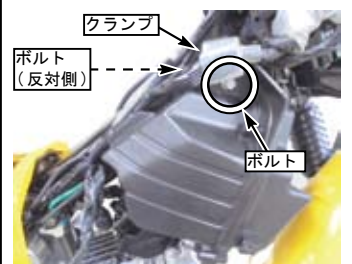


●インシュレーター/スロットルボディ/エアクリナーケースの取り外し

◇インジェクタ2Pカブラ、IACバルブ4Pカブラ、センサーユニット5Pカブラの接続を外す。



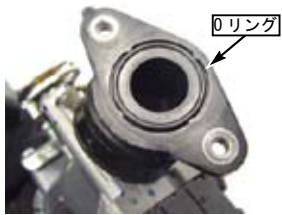
◇エアクリナーケースに取り付けているワイヤーハーネスクランプを取り外す。エアクリナーケースのボルト2本を取り外す。



◇インシュレーターのボルト2本を取り外す。



◇インシュレーターのOリングを取り外しておく。

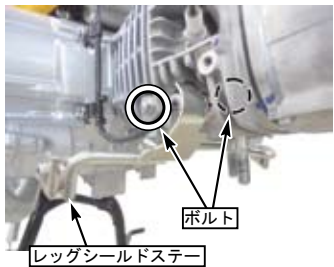


Oリング

◇インシュレーター/スロットルボディ/エアクリーナーケースをエンジンとフレームの間から抜き取り、フューエルホースに負担が掛からないようにフレーム等に置いておく。

●シリンダーヘッドの取り外し

◇スパークプラグキャップを取り外す。
◇ボルト2本を取り外し、レッグシールドステーを取り外す(スーパーカブ110の場合)。



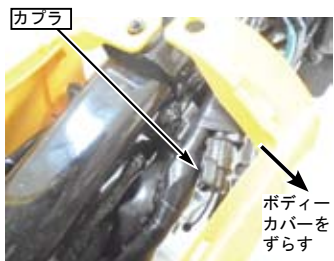
ボルト

レッグシールドステー

◇スクリュー/ラバーワッシャを取り外す(クロスカブ110の場合)。
◇右側のボディカバーを破損に注意せず。O₂センサーの配線のカブラの接続を外し、配線をクランプから取り外す。



スクリュー/ラバーワッシャ



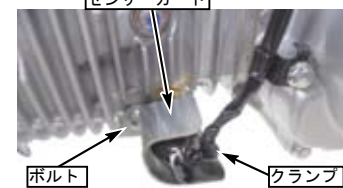
カブラ

ボディカバーを
ずらす



クランプ

◇配線クランプを取り外し、ボルトを取り外してセンサーガードをシリンダーから取り外す(クロスカブ110の場合)。

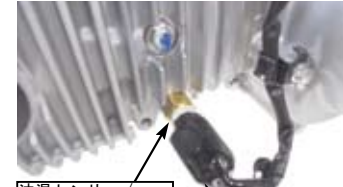


センサーガード

ボルト

クランプ

◇シリンダーの油温センサーのカブラの配線を外す。油温センサー及びシーリングワッシャを取り外す。



油温センサー
シーリングワッシャ

カブラ

◇タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップを取り外す。



タイミングホールキャップ

クランクシャフトホールキャップ

◇ヘッドカバーのボルト/マウントラバー2箇所を取り外しヘッドカバー/ガスケットを取り外す。



ボルト/マウントラバー

◇クランクシャフトを反時計方向に回し、カムプロケットの突起が前方を向いている状態で、フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせる。

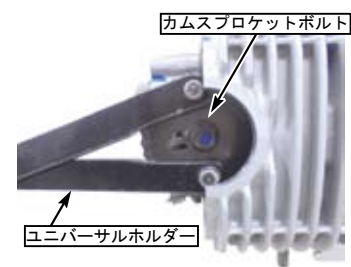


突起

“T” マーク



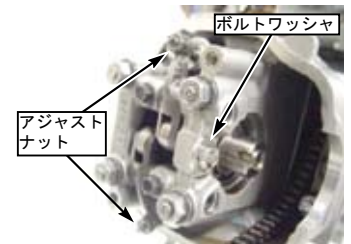
◇ユニバーサルホルダーにてカムプロケットを固定し、カムプロケットボルトを取り外し、カムプロケットを取り外す。



カムプロケットボルト

ユニバーサルホルダー

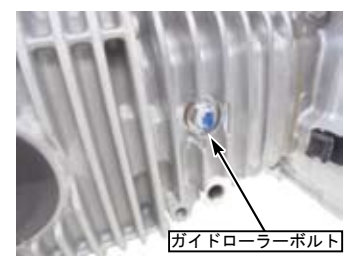
◇インテーク、エキゾースト共にロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩めておく。ボルトワッシャを緩めておく。



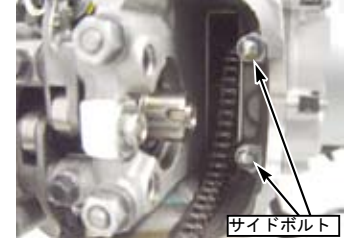
ボルトワッシャ

アジャストナット

◇シリンダーのガイドローラーボルトを緩めておく。シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り外す。

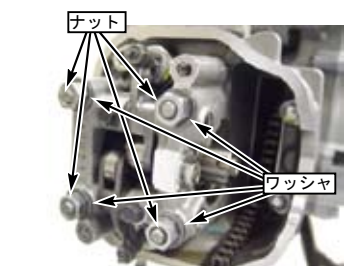


ガイドローラーボルト



サイドボルト

◇シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、シリンダーヘッドナットと共にワッシャ4個を取り外す。



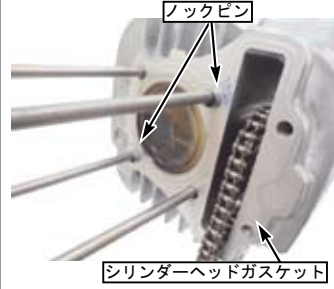
ナット

ワッシャ

◇シリンダーヘッドを取り外す。

●シリンダー、ピストンの取り外し

◇シリンダーヘッドガスケットとノックピン2個を取り外す。



ノックピン

シリンダーヘッドガスケット

◇シリンダーのガイドローラーボルト/シーリングワッシャを取り外し、ガイドローラーを取り外す。



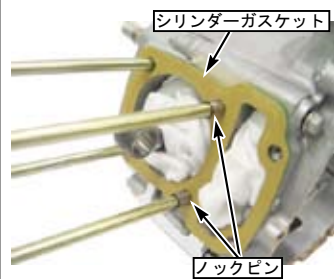
ガイドローラー

ガイドローラーボルト/
シーリングワッシャ

◇シリンダーを取り外す。
◇ピストンピンサークリップの片側を外し、ピストンピンを外し、ピストンを取り外す。



◇シリンダーガスケットとノックピン2個を取り外す。クランクケースにシリンダーガスケットがこびり付いている場合は、スクレイパーにて剥がす。

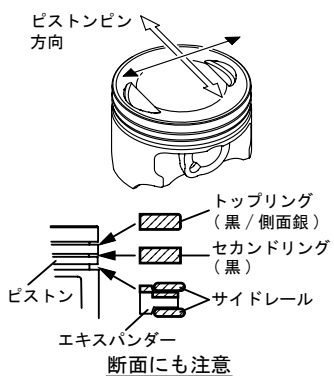
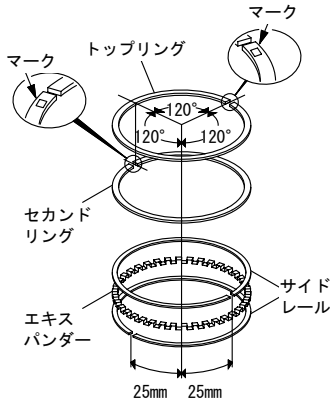


シリンダーガスケット

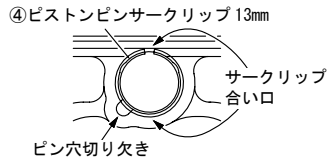
ノックピン

●ピストンの取り付け

- ◇①ピストンのリング溝をエアブローし、②ピストンリングを取り付ける。
- ※2NDリング及びTOPリングは文字が入っている面を上にして取り付ける。
- ※①ピストン及び②ピストンリングを傷つけたり、破損させない事。
- ※取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。
- ※リングの合口は、図のように120度間隔で取り付ける事。



- ◇片側のピストンピン穴のサークリップ溝に④ピストンピンサークリップ13mmを取り付ける。
- ※ピストンピンサークリップの合口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。



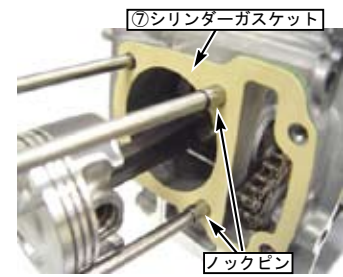
- ◇コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布し③ピストンピンにモリブデングリスを塗布しピストン頭部にある“IN”マークをインテーク側に向け、③ピストンピンを取り付ける。



- ◇ピストンピンサークリップ溝に④ピストンピンサークリップ13mmを取り付ける。
- ※ピストンピンサークリップの合口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。

●シリンダーの取り付け

- ◇クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケースにロックピン2個とキット内の新品の⑦シリンダーガスケットを取り付ける。



- ◇ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。
- ⑤シリンダー内周部を清掃した後エンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながら⑤シリンダーを取り付ける。



- ◇ガイドローラーを⑤シリンダーの取り付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト/シーリングワッシャを仮止めしておく。

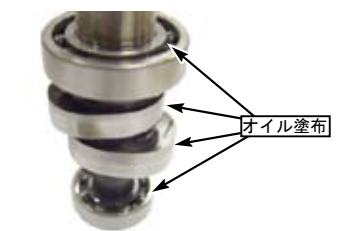


●カムシャフトの交換

- ◇シリンダーヘッドのボルトワッシャを取り外し、ノーマルカムシャフトを取り外す。
- ※外し難い場合はロッカーアームのアジャストスクリューを緩め取り外す。



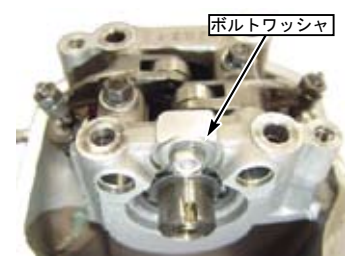
- ◇付属の⑧カムシャフトのカム摺動部、ベアリングにエンジンオイルを塗布する。



- ◇溝をロッカーアーム側に向け、⑧カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。

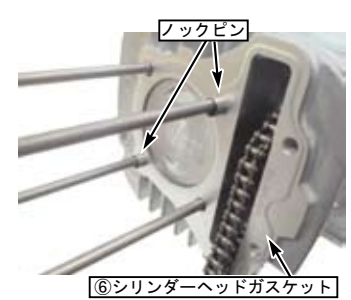


- ◇シリンダーヘッドにボルトワッシャを仮止めする。



●シリンダーヘッドの取り付け

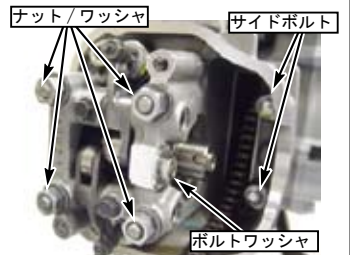
- ◇シリンダー上面を清掃する。ロックピン、付属の⑥シリンダーヘッドガスケットを取り付ける。



- ◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。



- ◇ワッシャ4個、シリンダーヘッドナット4個、シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り付ける。



- ◇シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドナット
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

- ◇シリンダーヘッドのサイドボルト2本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
サイドボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ◇仮止めていた⑤シリンダーのガイドローラーボルトを規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ◇仮止めていたボルトワッシャを規定トルクにて締め付ける。

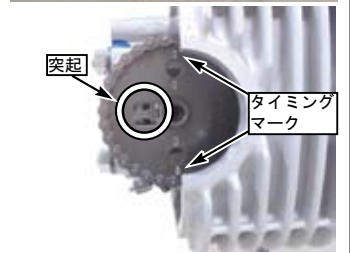
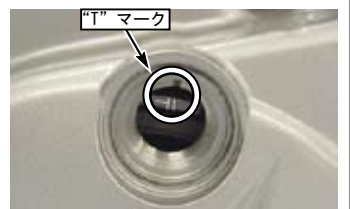
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルトワッシャ
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

- ◇オイルフィルボルトとシーリングワッシャを取り外す。



オイルフィルボルト/シーリングワッシャ

- ◇フライホイールの“T”マークがクラッチカバーの合わせマークに合っているか確認し、突起を前方に向け、タイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合うようにカムスプロケットをカムチェーンに付け、カムシャフトの溝をカムスプロケットの突起に合わせて取り付ける。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◇ユニバーサルホルダーにてカムプロケットを固定し、カムプロケットのボルトを規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)

◇クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせ、カムプロケットのタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。

◇ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィラボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルフィラボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



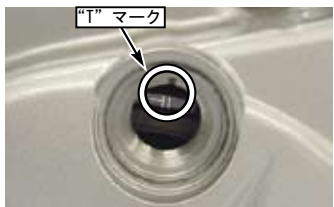
エンジンオイル注入



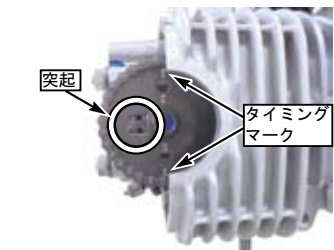
オイルフィラボルト / シーリングワッシャ

●バルブクリアランスの調整

◇フライホイールの“T”マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせたときにカムプロケットの突起が前方を向き、且つタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。



“T”マーク



突起

タイミングマーク

◇ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブステムエンドの間に0.1mmのシックスネスゲージを差し込み、アジャストスクリューを締め込んでいき、シックスネスゲージが少し抵抗があるくらいで引き抜けるぐらいに合わせてアジャストナットを締め付ける。

バルブクリアランス
：IN、EX 共に 0.1mm

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アジャストナット
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



◇バルブクリアランス調整後、反時計方向にフライホイールを2回転回した後で“T”マークとタイミングマークをそれぞれ合わせ、バルブクリアランスが変化していないか点検する。

変化している場合は再度調整し、合うまでこの作業を繰り返す。

◇ヘッドカバーにガスケットを取り付け、ガスケットの画像に記す隅部分にシール剤を塗布する。
シール剤
：スリーボンド 1215 又は相当品



シール剤塗布

◇ヘッドカバー / ガスケットをヘッドカバーのボルト / マウントラバー 2箇所にて取り付け、規定トルクにて締め付ける。
※マウントラバーは“UP”マークを上に向けて取り付ける事。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト / マウントラバー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



ボルト / マウントラバー

◇タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップにOリングが付いている事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
タイミングホールキャップ
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
クランクシャフトホールキャップ
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

タイミングホールキャップ



クランクシャフトホールキャップ

◇油温センサー及びシーリングワッシャをシリンダーに取り付け、規定トルクにて締め付ける。油温センサーのカブラの配線を接続する。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
油温センサー / シーリングワッシャ
トルク：14N・m (1.4kgf・m)

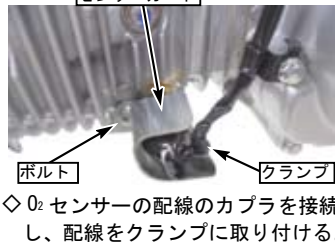


油温センサー / シーリングワッシャ

カブラ

◇ボルトにてセンサーガードをシリンダーに取り付け、配線クランプを取り付ける (クロスカブ 110 の場合)。

センサーガード



ボルト

クランプ

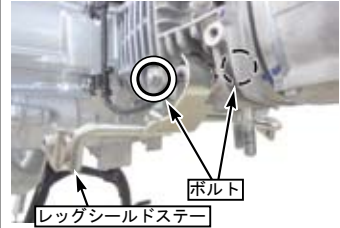
◇O₂センサーの配線のカブラを接続し、配線をクランプに取り付ける。

カブラ



◇レグシールドステーをボルト 2本で取り付け、規定トルクにて締め付ける (スーパーカブ 110 の場合)。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



レグシールドステー

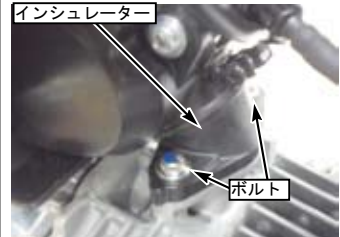
●インシュレーター / スロットルボディー / エアクリーナーケースの取り付け

※ビッグスロットルボディー取り付けの際は、取り扱い説明書に従う事。

◇インシュレーター / スロットルボディー / エアクリーナーケースをエンジンとフレームの間にセットする。

◇インシュレーターをボルト 2本にてシリンダーヘッドに取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

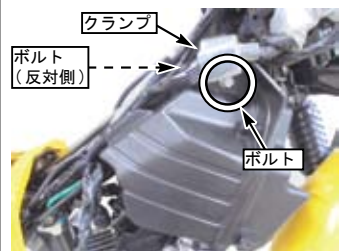


インシュレーター

ボルト

◇エアクリーナーケースをボルト 2本にてフレームに取り付ける。ワイヤーハーネスクランプを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



クランプ

ボルト (反対側)

ボルト

◇インジェクタ 2P カブラ、IAC バルブ 4P カブラ、センサーユニット 5P カブラをそれぞれ接続する。

※FI コントローラー取り付けの際は、その取り扱い説明書に従う事。

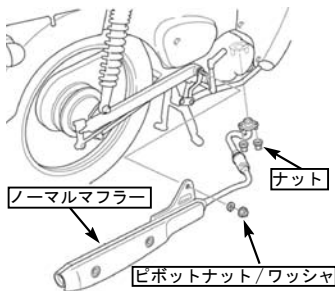


●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り付け

※エキゾーストマフラーがノーマル品から変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

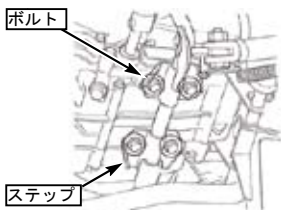
◇ピボットボルトを押し込み、ノーマルマフラーをセットし、ヘッド側のエキゾーストパイプナット2個とピボットナット/ワッシャを仮止めする。
仮止め部を規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
エキゾーストパイプナット
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
ピボットナット
トルク：59N・m (6.0kgf・m)



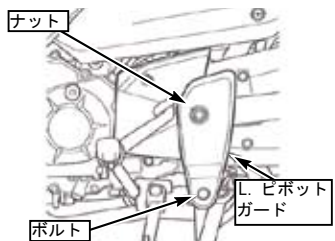
◇ボルト4本を対角に数回に分けて締め付け、ステップを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



◇ボルト及びナットを取り付け、L.ピボットガードを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：39N・m (4.0kgf・m)
ナット
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



●外装部品の取り付け

◇純正サービスマニュアルを参考にして各カバーを取り付ける。